鴨方中学校

シラバス

【　令和３年度　３学期　】

第1学年

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

国語	第１学年　３学期	授業時間数	４時間／週
教科書（発行所）	国語１（光村図書）		

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる。具体的には次の通り。 （１）社会生活に必要な国語の特徴を理解し、適切に使うことができる。 （２）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につけることができる。 （３）言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上に努めることができる。	
評価の観点	①知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、言語文化に親しんだり、正しく理解したりすることができる。
	②思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしている。
	③主体的に学習に取り組む態度	・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。
評価の方法		・小テスト　・単元テスト　・定期考査　・聞き取りテスト ・ワークシートへの記述内容　・授業観察（ペアワーク・グループワーク） ・言語活動への取り組み　・作品　・発表内容　・振り返り活動　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	７　価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう	・情報を取り出して筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもつ。 ・読み手からの助言を基に、自分の文章の良い点や改善点を見いだす。
	８　自分を見つめる	少年の日の思い出	・文章の中での語句の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。 ・場面の展開や表現の効果、語り手に着目して、作品を読み深める。
		文法３ 随筆二編	・事物や情感を表す語句や表現に着目して読み、語感を磨く。 ・場面の展開や描写を基に、筆者の考えや思いをとらえる。
		構成や描写を工夫して書こう 一年間の学びを振り返ろう	

	７　価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す	必要な情報を取り出し、結び付けて要約する。 筆者の要約に対する自分の考えをもつ。
		助言を自分の文章に生かそう	内容や魅力を分析して論じる観点を決めて書評を書く。 書いた書評についての助言をもとに、自分の文章の良い点や改善点を見いだす。
		文法の扉２ 　言葉の関係を考えよう	文節どうしの関係と文の成分について理解する。
		読書に親しむ	
	８　自分を見つめる	少年の日の思い出	文章の中での語句の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。 場面の展開や表現の効果、語り手に着目して、作品を読み深める。
３学期		文法への扉３ 　単語の性質を見つけよう	単語が自立語・付属語に分けられることを知り、それぞれの性質について理解する。 活用の有無によっても分けられることを知り品詞や体言・用言についても理解する。
		随想２編	事物や情感を表す語句や表現に着目して読み、語感を磨く。 場面の展開や描写をもとに、筆者の考えや思いを捉える。
		構成や描写を工夫して書こう	情景や心情を適切に表す語句を選ぶ。 書く内容の中心が明確になるように、構成や描写を考えて書く。
		言葉３　さまざまな表現技法	さまざまな表現技法の特徴とその効果を理解し、言葉の幅を広げる。
		漢字３　漢字の成り立ち	漢字の成り立ちについて理解し、漢和辞典を活用して練習問題を解く。
		一年間の学びを振り返ろう	一年間の学習の中から観点を決め、材料を集めて整理する。 聞き手の反応に注意しながら話す。
		さくらの　はなびら	表現技法の種類と効果を理解して、詩を読む。 詩の言葉や表現を読み味わい、作者の思いについて考える。

社会科	第１学年　３学期	授業時間数	３時間／週
教科書（発行所）	中学生の地理（帝国書院）　新しい社会　歴史（東京書籍）		

学習目標	⑴課題を追求したり解決したりする活動を通して、社会的事象について調べたり、考えたりすることができる。 ⑵広い視野をもって、平和で民主的な社会を担う公民として必要な力を身につける。	
評価の観点	①　知識・技能	・社会的事象について、その意義や特色、相互の関連、基本的用語などの知識を身につけている。 ・様々な資料を収集・選択をして、それをもとに調べまとめることができる。
	②　思考・判断・表現	・社会的事象から課題をみつけ、多面的・多角的に考え公正に判断し、結論を導き出し、まとめたり発表したりできる。
	③　主体的に学習に取り組む態度	・課題解決を視野に，よりよい社会の実現に向けて、意欲的に追究，解決しようとしている。
評価の方法		・授業観察（班活動、話し合いや学び合いの様子、発表、発言） ・ワークシートの内容　・振り返りシート　・ノート（まとめ、整理） ・定期考査　・小テスト　・課題（取組のようす）　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	○近世の日本	・ヨーロッパ人との出会いと全国統一	・ヨーロッパ人との出会うことによって戦乱の世がどのように終わりをむかえたのかまとめる。
	○世界の諸地域	・世界の諸地域 （南アメリカ州） （オセアニア州）	・南アメリカ州で、農地や鉱山の開発が進むことによって起こる、地域への影響をまとめる。 ・オセアニア州の、他地域との関係の変化をまとめる。

数学	第１学年　３学期	授業時間数	４時間／週
教科書（発行所）	未来へひろがる　数学１（啓林館）		

学習目標	（１）身のまわりの事象についてのきまりや法則をみつけたり、それを数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。 （２）数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、よりよく問題解決しようとすることができる。	
評価の観点	１　知識・技能	・数学の学習で使用する言葉や法則を、今までに習ったことと関連付けて理解することができる。 ・計算方法を理解し、正確に答えを求めることができる。 ・データを表やグラフを用いて整理することができる。
	２　思考・判断・表現	・身のまわりの事柄を、数学を用いて調べ、数学的な表現を用いて分かりやすくまとめることができる。
	３　主体的に学習に取り組む態度	・数学を使って問題を解くことのよさを実感し、向上心をもって粘り強く考えることができる。 ・自分の考え方を振り返って、よりよく解決しようと努力している。
評価の方法		・授業観察（話し合い活動・発表）　・ノート　・振り返り活動 ・課題　・定期テスト　・小テスト　など

学期	単元・課題	学習内容	学習活動の例
３学期	６章　空間図形 １節　立体と空間図形	・いろいろな立体 ・空間内の平面と直線 ・立体の構成	・立体の特徴について考える。 ・平面が１つに決まる場合について考える。 ・直線と平面の位置関係について考える。 ・面や線を動かしてできる立体について考える。
	２節　立体の体積と表面積	・立体の体積 ・立体の表面積	・立体の体積を求める。 ・立体の表面積を求める。
	７章　データの活用 １節　ヒストグラムと相対度数	・データを活用して、問題を解決しよう ・整理されたデータから読み取ろう	・散らばりのようすを示す値を使って特徴を比べる。 ・表やグラフを使って資料の傾向を比べる。 ・度数分布表やヒストグラムを使って資料の傾向比べる。 ・グラフを読み取る。 ・データの分布のようすを読み取る。 ・度数分布表から平均値を求める。
	２節　データにもとづく確率	・相対度数と確率	・実験を行うことができないことがらの確率を求める。

理科	第１学年　３学期	授業時間数	３時間／週
教科書（発行所）	未来へひろがるサイエンス１（啓林館）		

学習目標	○力による現象や身近な地形や地層、岩石、火山と地震など、身近な物理現象や大地の成り立ちと変化に関係することを科学的に探究するために必要な知識や技能を身につける。 （１）力による現象や身近な地形や地層、岩石、火山と地震など、身近な物理現象や大地の成り立ちと変化について基本的な内容が理解できる。 （２）顕微鏡などの器具を正しく操作し、安全に観察・実験を行うことができる。 （３）学習の中で見つけた課題に対して観察・実験を行い、その結果から規則性や関係性などを見い出すことができる。	
評価の観点	①知識・技能	・力のはたらきや種類、力の表し方について理解している。 ・力の大きさとばねののびとの関係（フックの法則）について理解している。 ・２力のつり合いについて理解している。 ・プレートの動きと地形の変化との関係性について理解している。 ・地震のゆれの発生や伝わり方、大きさや規模の表し方、日本列島で起こる地震の特徴について理解している。 ・火山から噴出されるものや火山の形、マグマからできた岩石について理解して いる。 ・地層のでき方や広がり、地層をつくる岩石、化石について理解している。 ・顕微鏡などの器具を正しく操作し、観察・実験を行うことができる。
	②思考・判断・表現	・力の大きさとばねののびとの関係を調べる実験を行い、その結果をグラフに表すことで規則性を見い出し説明することができる。 ・物体にはたらく２力についての実験を行い、２力がつり合う条件を見い出し説明することができる。 ・過去に起きた地震の記録をもとに、そのゆれの大きさや伝わり方の規則性を見い出し説明することができる。 ・震源からの距離が異なる場所に置かれた地震計の記録をもとに地震のゆれが伝わる速さを推定し、初期微動継続時間関連づけて説明することができる。 ・火山の形とマグマの性質との関係について実験を行い、火山の形を決める理由を見い出し説明することができる。 ・離れた場所の地層のようすやその構成物などから規則性を見い出し、地層の広がりを説明することができる。 ・地層の構成物や化石を手がかりとして、過去の環境や過去から現在までに起きた大地の変化について推定し、科学的に説明することができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	・力による物理現象や身近な地形や地層、岩石、火山と地震などを調べる実験に積極的に参加し、結果をまとめたり発表したりすることができる。 ・グループでの話し合い活動において、積極的に自分の考えを発表したり友達の考えを聞いたりし、科学的に探究しようとしている。
評価の方法		・授業観察（班活動、話し合いのようす、発表、発言） ・定期テスト　・章ごとの小テスト ・ワークシートへの記述の内容　・観察や実験のレポート ・パフォーマンステスト　・自己評価シート　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	光・音・力による現象	力による現象	•力のはたらきと力の種類について学ぶ。 •力の大きさとばねののびとの関係（フックの法則）について実験を通して学ぶ。 • 重さと質量について学ぶ。 • 力の大きさを矢印や単位を用いて表すことを学ぶ。 • ２力のつり合いについて実験を通して学ぶ。
３学期	活きている地球	身近な大地 ゆれる大地 火をふく大地 語る大地	• プレートについて学ぶ。 •地形の変化を読み取ることで、過去に起きた現象がわかることを学ぶ。 • 地震のゆれの発生と伝わり方について学ぶ。 • 地震のゆれの大きさや規模の表し方について学ぶ。 • 日本列島で起こる地震の特徴について学ぶ。 •火山から噴出されるものについて学ぶ。 • マグマの性質と火山の形との関係性について学ぶ。 • マグマからできた岩石について学ぶ。 • 地層のでき方について学ぶ。 •地層をつくっている岩石について学ぶ。 • 化石について学ぶ。 • 離れた場所の地層のつながりから地層の広がり方について学ぶ。 • 自然の恵みと火山災害や地震災害について学び、防災や減災について考える。

音楽	第１学年　３学期	授業時間数	1.25 時間／週
教科書（発行所）	音楽のおくりもの１　器楽（教育出版）		

学習目標	（１）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 （２）曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 （３）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。	
評価の観点	①知識・技能	・歌唱にふさわしい発声や姿勢を意識し、声部の役割や言葉の発音に注意して歌うことができる。 ・アルトリコーダーで、曲に合った息使いやタンギングで演奏することができる。 ・和楽器や民謡の特徴を知り、それぞれの音色や奏法に注目しながら鑑賞することができる。 ・アジア諸民族の音楽の特徴と、その音楽から生まれる多様性に気づくことができる。
	②思考・判断・表現	・詩の内容を理解して、それを音楽でどのように表しているか気づき、曲にふさわしい表現を工夫することができる。 ・音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法		・実技テスト　・授業プリント　・ワークシートへの記述　・定期考査 ・授業観察（個人練習、グループ活動）　・ふり返り活動　・課題　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	歌唱	心の中にきらめいて	・歌い合わせる喜びを感じながら、声部の役割を意識して合唱する。 ・促音を含む言葉が自然な発音に聞こえるよう、歌い方を工夫する。
	器楽	アルトリコーダー	・リコーダーの音色と奏法の関わりを理解したり、タンギングや両手を使った基本的な奏法を身につけたりしながら表現する。
	鑑賞	日本の音楽 アジア諸民族の音楽	・和楽器や民謡の特徴を知り、それぞれの音色や奏法に注目しながら鑑賞する。 ・アジア地域を中心とした諸民族の音楽の特徴に気づきながら鑑賞する。

美術	第１学年　３学期	授業時間数	1.25 時間／週
教科書（発行所）	美術１　美術との出会い（日本文教出版）		

学習目標	（1）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫できる。 （2）美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。 （3）創造活動の喜びを味わい、楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	
評価の観点	①知識・技能	授業で学んだことを理解し、意図に応じて材料や用具を生かしたり、表現方法を工夫したりして作品に表すことができる。
	②思考・判断・表現	作品の主題を生み出し、豊かに発想して構想を練ったり、自分や他の人の作品を自分なりに批評したりすることができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	意欲的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心をもつことができる。
評価の方法		・授業観察　・アイデアスケッチ　・ワークシート　・振り返り活動 ・鑑賞プリント　・作品　・定期考査　　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	粘土で食品サンプルストラップ	粘土を使って食品サンプルのストラップを制作する	・ワークシートにアイデアスケッチを描き、フェイクフードの食品サンプルを作る。 ・完成した作品の鑑賞会を行う。
	パラパラ漫画の制作	オリジナルのキャラクターによる５０ページのパラパラ漫画を１冊制作する	・ワークシートにオリジナルキャラクターのアイデアスケッチを描く。 ・アニメーションの仕組みや装置について学ぶ。 ・制作したキャラクターを登場させたパラパラ漫画を５０ページ描き、色鉛筆で色を塗る。
	パブロ・ピカソの鑑賞	パブロ・ピカソの代表作品を鑑賞する	・パブロ・ピカソの生涯や代表作品について学び、作品の良さを感じる。

保健体育	第１学年　３学期	授業時間数	３時間／週
教科書（発行所）	新しい保健体育（東京書籍）		

学習目標	（1）　各種の運動の特性に応じた技能を理解し、身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解し、実践することができる。 （2）　運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え判断することができる。また、それを他者に伝えることができる。 （3）　生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活をしていく態度を養うことができる。	
評価の観点	① 知識・技能	・それぞれの運動の特性に合った技能や、健康・安全について理解することができる。 ・基本的な技能を身に付けることができる。
	② 思考・判断・表現	・運動・健康について課題を発見し、それらを合理的に解決していくために考え、判断することができる。また、それらを他者に伝えることができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、積極的に参加する、一人一人の違いを認めようとすることができる。 ・心身の健康を保持し、高めていこうとする態度で臨むことができる。
評価の方法		・授業観察　・スキルテスト　・保体資料ノート　・振り返りシート ・定期考査　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	体つくり運動	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動	・ストレッチや、トレーニングなど、自己の体力に応じた課題をもった運動を行う。
	ダンス	現代的なリズムのダンス フォークダンス	・体を大きく使った表現活動を行う。
	球技	ゴール型 ネット型	・基本的な動作・用語を覚える。 ・基本的な技能を習得する。 ・ルールを覚え、試合をする。
	陸上競技	長距離走	・呼吸法や正しいフォームを覚える。 ・自己の記録に挑戦する。
	保健	心身の機能の発達と心の健	・自己形成と心の健康・心と体の関わり・欲求と心の健康・ストレスによる健康への影響・ストレスへの対処の方法について学ぶ。
	体育理論	運動やスポーツの多様性	・運動やスポーツの必要性と楽しさ、関わり方、楽しみ方について学ぶ。

技術	第１学年３学期	授業時間数	１時間／週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭　技術分野（東京書籍）		

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造することができる。

評価の観点	① 知識・技能	生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能を身につけることができる。
	② 思考・判断・表現	材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し、解決できる。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとすることができる。
評価の方法	・授業態度　・自己評価　・レポート　・発表　・作品 ・実技テスト　・定期テスト　・ワークシート　　など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	第２章 材料と加工の技術による問題解決	作業手順を考えて、スマホスタンド製作 問題解決の評価や改善、修理 これからの「材料と加工の技術」	・安全・適切な製作や検査、修理ができる。 ・製作の過程について考える。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修理する方法を考える。 ・これからの「材料と加工の技術」について考える。

家庭	第１学年３学期	授業時間数	１時間／週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭　家庭分野（東京書籍）		

学習目標	（1）各食品の特徴を知り、適切に選択する方法を知る。 （2）各食品の特徴を知り、適切に調理する方法を知る。 （3）災害時の備蓄食料を日常的に使いながら備える方法について知り、家庭での実践に繋げる。	
評価の観点	①知識・技能	・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択方法がわかる。 ・食品や調理器具を衛生的に扱う方法と食品の特徴を踏まえた調理の仕方がわかる。 ・日常的に災害時の食料を備える方法がわかる。
	② 思考・判断・表現	・災害時の食事と日常食の調理に関する課題を決め、解決策を考えながら、考察したことを文章で表現することができる。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	・よりよい生活の実現に向け、中学生の栄養的課題を見つけ、改善・工夫・創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々とよりよい生活の実現に向け、日常食の調理・地域の食文化の課題解決に向けて取り組み、改善・実践しようとしている。
評価の方法		・授業態度　・課題　・プリント　・レポート　・発表 ・振り返り活動　・定期テスト　・ワークシートへの記述　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	３章　調理のための食品の選択と購入	・食品の選択と購入 ・生鮮食品の特徴 ・加工食品の特徴 ・食品の保存と食中毒防止	・食品の選択と購入のために必要な情報について知る。 ・生鮮食品の特徴や表示の内容について知る。 ・加工食品の特徴や表示の内容について知る。 ・食品の適切で安全な扱い方について知る。
	４章　日常食の調理と地域の食文化	・日常食の調理 ・野菜・いもの調理 ・肉の調理 ・魚の調理	・調理上の安全、衛生や食品の性質を知る。 ・調理の基礎的な技能を知る。 ・野菜・いもの調理上の性質を知る。 ・適切な野菜の切り方と調理法で豚汁を作る。 ・肉の調理上の性質を知る。 ・適切な火加減でハンバーグを作る。 ・魚の調理上の性質を知る。 ・適切な火加減で鰯のかば焼きを作る。
	生活の課題と実践 （１編３章 食品の選択と購入） （３編１章 災害への対策・持続可能な住生活を目指して）	・災害時の食生活の課題と工夫 ・災害時を想定した調理の工夫 ・災害時の一日分の献立	・災害時の食料問題とローリングストック法について知る。 ・災害時にできる料理の具体例を知り、実践する。 ・災害時の一日分の献立を立てる。

第1学年　CAN-DOリスト形式の学習到達目標【鴨方中学校】

NEW CROWN

外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解するとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
(2)コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

領域別の目標

聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
ア　はっきりと話されれば、視覚情報等を参考に、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ　はっきりと話されれば、視覚情報等を参考に、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ　はっきりと話されれば、視覚情報等を参考に、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。	ア　日常的な話題について、視覚情報等を参考にすれば、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ　日常的な話題について、視覚情報等を参考にすれば、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ　社会的な話題について、視覚情報等を参考にすれば、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。	ア　関心のある事柄について、メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ　日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、メモ等を活用すれば、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。	ア　関心のある事柄について、メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ　日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、メモ等を活用すれば、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。	ア　関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ　日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

評価の方法

・小テスト　・単元テスト　・定期考査
・リスニングテスト　・スピーキングテスト
・パフォーマンステスト
・ワークシートの記述内容
・振り返り活動　・スキット作り
・授業観察（ペアワーク・グループワーク）
・言語活動への取り組み
・課題（自分なりに工夫した取り組みなど）など

3学期	学期末の言語活動（パフォーマンス評価）	小学校英語との関連(5年)	小学校英語との関連(6年)
	【話すこと（発表）】 大切にしているものの写真や絵を見せながら，手に入れた経緯や大切にしている理由を加えて発表することができる。	Asakuchi Chants	Asakuchi Chants

	中心となる言語活動	聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと	小学校英語との関連(5年)	小学校英語との関連(6年)
Reading for Fun	アリスの物語を楽しみながら読む。		アリスの物語を楽しみながら読むことができる。					
GET Plus6	依頼を表す表現を用いて対話する。			してほしいことを依頼したり，依頼に応じることができる。		依頼した文を正確に書くことができる。		
Take Action! Talk6	人物の描写をしながら対話する。			人物の描写について，聞きなおすなどしながら対話をすることができる。				
Take Action! Listen6	天気予報を聞いて，自分が必要とする情報を聞き取る。	天気予報を聞いて，自分が必要とする情報を聞き取ることができる。						
Lesson8	環境を守るためにできることを考え，具体例を示しながらマニフェストを書く。		環境イベントで配布されたパンフレットの記事を読んで，その概要を把握することができる。			環境を守るためにできることを考え，具体例を示しながらマニフェストについて，まとまりのある英文を書くことができる。		
GET Plus5	相手の表情や状態を表す表現を用いて対話する。			相手の表情や状態を表す表現を用いて対話することができる。				
Take Action! Talk5	好きな漫画などについて，対話する。			好きな漫画などについて，情報を付け加えながら対話することができる。				
Take Action! Listen5	インタビューを聞いて，話し手が伝えたいことを聞き取る。	インタビューを聞いて，話し手が伝えたいことを聞き取る。						
Lesson7	好きな偉人や憧れの偉人について，その理由などを加えて発表する。		車いすバスケットボール選手が書いた自伝の記事を読んで，その概要を把握することができる。		好きな偉人や憧れの偉人について，その理由などを加えて発表することができる。		自分のあこがれの人を紹介することができる。	

鴨方中学校

シラバス

【　令和３年度　３学期　】

第2学年

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

教科名	第２学年　３学期	授業時間数	４時間／週
教科書（発行所）	国語２（光村図書）		

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる。具体的には次の通り。 （１）社会生活に必要な国語の特徴を理解し、適切に使うことができる。 （２）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につけることができる。 （３）言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上に努めることができる。	
評価の観点	① 知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、言語文化に親しんだり、正しく理解したりすることができる。
	② 思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。
評価の方法		・小テスト　・単元テスト　・定期考査　・聞き取りテスト　・振り返り活動 ・ワークシートへの記述内容　・授業観察（ペアワーク・グループワーク） ・言語活動への取り組み　・作品　・発表内容　・振り返り活動など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	６　古の心を訪ねる	漢詩の風景	・漢詩を朗読し、独特の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 ・漢詩に歌われている情景を想像し、いにしえの人の心情に触れる。
	７　価値を語る	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ 魅力を効果的に伝えよう 漢字に親しもう５ 文法への扉２	・文章における具体と抽象の関係を理解する。 ・観点を明確にして文章を比較し、その分析を基に構成や表現の効果を考える。
	８　表現を見つめる	走れメロス 文法への扉３ 言葉３　話し言葉と書き言葉 構成や展開を工夫して書こう 漢字に親しもう６ 漢字３　送り仮名 国語の学びを振り返ろう	・抽象的な概念を表す語句が、作品に与える印象を考える。 ・登場人物の人物像や表現の効果などに着目して、作品の魅力を考える。

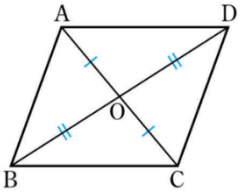
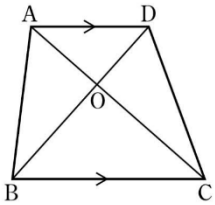
教科名　社会科	第２学年　３学期	授業時間数	３時間／週
教科書（発行所）	地理：帝国書院　歴史：東京書籍		

学習目標	⑴課題を追求したり解決したりする活動を通して、社会的事象への見方や考える力を身につける。 ⑵広い視野をもって、平和で民主的な社会を担う公民として必要な力を培う。	
評価の観点	①知識・技能	・社会的事象について、その意義や特色、相互の関連、基本的用語などの知識を身につけている。 ・様々な資料を収集・選択をして、それをもとに調べまとめることができる。
	②思考・判断・表現	・社会的事象から課題をみつけ、多面的・多角的に考え公正に判断し、結論を導き出し、まとめたり発表したりできる。
	③主体的に学習に取り組む態度	・課題解決を視野に，よりよい社会の実現に向けて、意欲的に追究，解決しようとしている。
評価の方法		・授業観察（班活動、話し合いや学び合いの様子、発表、発言） ・ワークシートの内容　・振り返りシート　・ノート（まとめ、整理） ・定期考査　・小テスト　・課題（取組のようす）

学	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	○日本の諸地域	・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	・日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 ・関東地方については交通や通信、東北地方について生活・文化、北海道地方については自然環境を中心に、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解し、多面的・多角的に考察し表現する。 ・日本のそれぞれの地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及する。
	○地域の在り方	・地域の課題を把握し、調査を行う。 ・課題の要因を考察し、その解決策を考え発表する。	・地域の実態や課題解決のための取り組みを理解し、調査を行う。 ・課題の解決に向けて多面的・多角的に考察し表現する。
	○開国と近代日本の歩み	・明治維新 ・日清・日露戦争と近代産業	・なぜ日本ではほかのアジア諸国に先がけて、近代化が進んだのかを調べ、まとめる。 ・近代化を進める中で、なぜ日本は中国やロシアと戦争をすることになったのかを考え、まとめる。

数学	第２学年　３学期	授業時間数	３時間／週
教科書（発行所）	未来へひろがる　数学２（啓林館）		

学習目標	（１）　身のまわりの事象についてのきまりや法則をみつけたり、それを数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。 （２）　数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、よりよく問題解決しようとすることができる。	
評価の観点	①　知識・技能	・数学の学習で使用する言葉や法則を、今までに習ったことと関連付けて理解することができる。 ・計算方法を理解し、正確に答えを求めることができる。
	②　思考・判断・表現	・身のまわりの事柄を数学を用いて調べ、数学的な表現を用いてわかりやすくまとめることができる。 ・図形の性質を論理的に確かめることができる。
	③　主体的に学習に取り組む態度	・数学を使って問題を解くことのよさを実感し、向上心をもって粘り強く考えることができる。 ・自分の考え方を振り返って、よりよく解決しようと努力している。
評価の方法		・授業観察（話し合い活動・発表）　・ノート　・振り返り活動 ・課題　・定期テスト　・小テスト　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動の例
３学期	５章 ２節　四角形	・平行四辺形の性質	・平行四辺形の性質「平行四辺形の２組の向かいあう辺は、それぞれ等しい」を証明する。
		・平行四辺形になるための条件	・四角形 ABCD で、対角線の交点を O とするとき、「AO＝CO、BO=DO ならば、四角形 ABCD は平行四辺形である。」ことを証明する。 
		・いろいろな四角形	・平行四辺形 ABCD が、長方形になるための条件を調べる。
		・平行線と面積	・右の図で、AD//BC であるとき、面積が等しい三角形の組をすべて見つける。 
		・四角形の性質の利用	・折りたたみ式テーブルのしくみについて、数学を用いて考える。

	６章　場合の数と確立 １節　場合の数と確立	・確率の求め方 ・いろいろな確率 ・確率の利用	・１つのさいころを投げるとき、６以下の目が出る確率を求める。 ・２つのさいころを同時に投げるとき、同じ目が出る確率を求める。 ・くじ引きでは、さきにひくか、あとにひくかによって、あたりやすさに違いがあるか考える。
	７章　箱ひげ図とデータの活用 １節　箱ひげ図	・箱ひげ図 ・データを活用して、問題を解決しよう	・データを整理する方法として、箱ひげ図について学ぶ。 ・与えられた複数の箱ひげ図から、わかることを読みとり、問題を解決する。

理科	第２学年　３学期	授業時間数	４時間／週
教科書（発行所）	未来へひろがるサイエンス２（啓林館）		

学習目標	○電流や磁界に関する現象について科学的に探究するために、必要な知識や技能を身につける。 （１）電流や磁界に関する現象について基本的な内容が理解できる。 （２）電流計や電圧計などの器具を正しく操作し、安全に観察・実験を行うことができる。 （３）学習の中で見つけた課題に対して観察・実験を行い、その結果から規則性や関係性などを見いだすことができる。	
評価の観点	①知識・技能	・電気用図記号を使って、回路図に表すことができる。 ・回路を流れる電流や加わる電圧について規則性を理解している。 ・電圧と電流の関係（オームの法則）や回路全体の電気抵抗について理解している。 ・電力や電力量、電流による発熱量について理解している。 ・静電気の性質や放電によると電子の移動との関係性について理解している。 ・放射線の性質について理解している。 ・磁石による磁界や電流がつくる磁界について理解している。 ・電流が磁界から受ける力によってモーターが回ることを理解している。 ・コイルと磁石を使って電流をつくる（発電）しくみについて理解している。 ・直流と交流の違いについて理解している。 ・電流計などの器具を正しく操作し、観察・実験を行うことができる。
	②思考・判断・表現	・直列回路と並列回路の電流や電圧を測定する実験を行い、回路の各点を流れる電流や各部に加わる電圧についての規則性を見い出し、説明することができる。 ・抵抗器に加わる電圧と電流を測定する実験を行い、その結果をグラフに表すことで電圧と電流の関係性を見い出し、説明することができる。 ・電流によって熱を発生させる実験を行い、電力と発熱量及び電流を流した時間と発熱量との関係性を見い出し、説明することができる。 ・磁界の中のコイルに電流を流すと力はたらくことを活用して、モーターが回るしくみについて、科学的に説明することができる。 ・コイルや磁石を動かすことで電流が流れることを活用して、発電機のしくみについて、科学的に説明することができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	・電流や磁界に関する現象についての観察・実験に積極的に参加し、結果をまとめたり発表したりすることができる。 ・グループでの話し合い活動において、積極的に自分の考えを発表したり友達の考えを聞いたりし、科学的に探究しようとしている。
評価の方法		・授業観察（班活動、話し合いのようす、発表、発言） ・定期テスト　・章ごとの小テスト ・ワークシートへの記述の内容　・観察や実験のレポート ・パフォーマンステスト　・自己評価シート　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	電流とその利用	電流の性質 電流の正体 電流と磁界	・回路の種類と回路図の書き方について学ぶ。 ・電流計と電圧計の使い方について学ぶ。 ・回路を流れる電流について実験を通して学ぶ。 ・回路に加わる電圧について実験を通して学ぶ。 ・回路に流れる電流と電圧との関係（オームの法則）について学ぶ。 ・回路全体の抵抗について実験を通して学ぶ。 ・電力について学ぶ。 ・電流による発熱について実験を通して学ぶ。 ・電力と時間との関係について学ぶ。 ・静電気の性質や電流との関係性について実験を通して学ぶ。 ・放電による電流と電子の移動との関係性について実験を通して学ぶ。 ・放射線とその利用について学ぶ。 ・磁石のよる磁界について学ぶ。 ・電流がつくる磁界について実験を通して学ぶ。 ・電流が磁界から受ける力について実験を通して学ぶ。 ・モーターがまわるしくみについて学ぶ。 ・発電のしくみについて実験を通して学ぶ。 ・直流と交流について学ぶ。

音楽	第２学年　３学期	授業時間数	１時間／週
教科書（発行所）	音楽のおくりもの　中学音楽２・３上下（教育出版）、器楽（教育芸術社）		

学習目標	（１）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 （２）曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 （３）主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。	
評価の観点	①知識・技能	・歌唱にふさわしい発声や姿勢を意識し、言葉の発音に注意して歌うことができる。 ・アルトリコーダーで、曲に合った息使いやタンギングで演奏することができる。 ・日本各地のさまざまな音楽や芸能について知り、それぞれの文化のよさや美しさを味わいながら鑑賞することができる。
	②思考・判断・表現	・詩の内容を理解して、それを音楽でどのように表しているか気づき、曲にふさわしい表現を工夫することができる。 ・旋律やリズムなどの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。
	③主体的に学習に取り組む態度	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法		・実技テスト　・授業プリント　・ワークシートへの記述　・定期考査 ・授業観察（個人練習、グループ活動）　・ふり返り活動　・宿題　など

	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	歌唱	心の中にきらめいて	・歌い合わせる喜びを感じながら、声部の役割を意識して合唱する。 ・促音を含む言葉が自然な発音に聞こえるよう、歌い方を工夫する。
		早春賦	・情景を思い浮かべながら、言葉を大切にして歌う。
	器楽	アルトリコーダー	・曲にふさわしい音色や息使いを工夫して演奏する。
	鑑賞	郷土の音楽や芸能 オペラ・バレエ	・日本各地のさまざまな音楽や芸能について知り、それぞれの文化のよさや美しさを味わいながら鑑賞する。 ・オペラとバレエの共通性や固有性に注目しながら鑑賞する。

美術	第２学年　３学期	授業時間数	１時間／週
教科書（発行所）	美術２・３上下 学びの実感と広がり、学びの探求と未来（日本文教出版）		

学習目標	（1）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる。 （2）美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を深めたりできる。 （3）創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	
評価の観点	①知識・技能	授業で学んだことを理解し、意図に応じて材料や用具を生かしたり、表現方法を工夫したりして作品に表すことができる。
	②思考・判断・表現	作品の主題を生み出し、豊かに発想して構想を練ったり、自分や他の人の作品を自分なりに批評したりすることができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	意欲的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心をもつことができる。
評価の方法		・授業観察　・アイデアスケッチ　・ワークシート　・振り返り活動 ・鑑賞プリント　・作品　・定期考査　　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	アートフラワーの制作	作品を完成させて、鑑賞会を行う	・クロームブックを使って、作品票を作る。 ・クラスで完成した作品の鑑賞会を行う。
	篆刻の制作	印刀を使って、石に印を刻する 持ち手の彫刻を行い、磨き上げる	・印面の文字をデザインする。 ・デザインした文字を石に写し、印刀で印面を刻する。彫り終えたら、一度押印して、修正をする。 ・持ち手を彫刻して、やすりをかけて傷を取る。
	抽象芸術（鑑賞）	抽象芸術の作品鑑賞	・抽象芸術について学び、作品の良さを理解する。

保健体育	第２学年　３学期	授業時間数	３時間／週
教科書（発行所）	新しい保健体育（東京書籍）		

学習目標	（1）　各種の運動の特性に応じた技能を理解し、身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解し、実践することができる。 （2）　運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え判断することができる。また、それを他者に伝えることができる。 （3）　生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活をしていく態度を養うことができる。	
評価の観点	① 知識・技能	・それぞれの運動の特性に合った技能や、健康・安全について理解することができる。 ・基本的な技能を身に付けることができる。
	② 思考・判断・表現	・運動・健康について課題を発見し、それらを合理的に解決していくために考え、判断することができる。また、それらを他者に伝えることができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、積極的に参加する、一人一人の違いを認めようとすることができる。 ・心身の健康を保持し、高めていこうとする態度で臨むことができる。
評価の方法		・授業観察　・スキルテスト　・保体資料ノート　・振り返りシート ・定期考査　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	体つくり運動	体ほぐしの運動 体の動きを高める運動	・ストレッチや、トレーニングなど、自己の体力に応じた課題をもった運動を行う。
	球技	ゴール型 ネット型	・基本的な動作・用語を覚える。 ・基本的な技能を習得する。 ・ルールを覚え、試合をする。
	陸上競技	長距離走	・長距離走の合理的な走り方について学ぶ。 ・自分の記録に挑戦する。
	保健	健康な生活と病気の予防	・喫煙の害と健康、飲酒の害と健康、薬物乱用の害と健康、薬物乱用の社会への影響、喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処について学ぶ。
	体育理論	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	・運動やスポーツが心身に及ぼす効果、社会性の発達に及ぼす効果、学び方、安全な行い方について学ぶ。

技術	第２学年３学期	授業時間数	１時間／週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭　技術分野（東京書籍）		

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造することができる。

評価の観点	①知識・技能	製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる。
	②思考・判断・表現	材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決できる。
	③主体的に学習に取り組む態度	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとすることができる。
評価の方法	・授業態度　・自己評価　・レポート　・発表　・作品 ・実技テスト　・定期テスト　・ワークシート　　など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	第１章 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み 第２章 材料と加工の技術による問題解決	身の回りの材料と加工の技術 丈夫な構造の特徴 問題を発見し、課題を設定 試作品の製作 試作の評価	・身の回りの製品で使われている材料と加工の技術を調べ、まとめる。 ・部材の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考える。 ・身近な生活や学校などで、材料と加工の技術によって解決できる問題を見つける。 ・バルサ材を用いて、使用目的や使用条件に合わせて、製作品の構想を具体化する。 ・試作品を評価し、改善・修正する方法について考える。

家庭	第２学年　３学期	授業時間数	１時間／週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭　家庭分野（東京書籍）		

学習目標	（１）家族・家庭や地域の消費生活についての問題を見つけ、環境への配慮も踏まえた解決方法がわかる。 （２）自分に合った計画的な金銭管理の方法がわかる。	
評価の観点	①知識・技能	・計画的な金銭管理の必要性と売買契約の仕組みがわかる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響がわかる。
	② 思考・判断・表現	・商品の購入や自立した消費行動について問題を見出して、その中から課題を決め、解決策を考えながら、考察したことを文章で表現することができる。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	・よりよい生活の実現に向け、中学生の金銭管理と課題を見つけ、改善・工夫・創造し、実践しようとしている。 ・消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組み、改善・実践しようとしている。
評価の方法		・授業態度　・課題　・プリント　・レポート　・発表 ・振り返り活動　・定期テスト　・ワークシートへの記述　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	４編　私たちの消費生活と環境		
	１章　私たちの消費生活と環境	・消費者としての自覚 ・購入方法と支払方法 ・バランス良く計画的な金銭管理 ・消費者トラブルとその対策 ・何を考えて決めますか～意思決定のプロセス～	・自分の身近な消費行動と契約について知る。 ・購入方法と支払方法について知る。 ・計画的な金銭管理の必要性を学び、自分に合った金銭管理の方法を知る。 ・消費トラブルの事例とその対策について知り、トラブルを未然に防ぐ方法を知る。 ・商品の選択と購入の手順を学び、適切な購入計画を立て方を知る。
	２章　責任ある消費者になるために	・消費者としてできること～権利と責任～ ・省エネルギーと持続可能な社会 ・持続可能な消費生活を目指して	・消費者の権利と責任について学び、自分の消費行動を工夫する方法を知る。 ・消費行動が環境に与える影響を知り、エネルギー消費を減らす工夫の方法を知る。 ・持続可能な消費生活を目指して課題とその解決方法を考え、消費生活を工夫する方法を知る。

第2学年　CAN-DOリスト形式の学習到達目標【鴨方中学校】

NEW CROWN

外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解するとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
(2)コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

領域別の目標

聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと
ア はっきりと話されれば、適宜視覚情報等を参考に、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、適宜視覚情報等を参考に、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、適宜視覚情報等を参考に、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。	ア 日常的な話題について、適宜視覚情報等を参考にすれば、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、適宜視覚情報等を参考にすれば、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、適宜視覚情報等を参考にすれば、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。	ア 関心のある事柄について、適宜メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、適宜メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、適宜メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、適宜メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、適宜メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、適宜メモ等を活用すれば、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

評価の方法

・小テスト　・単元テスト　・定期考査
・リスニングテスト　・スピーキングテスト
・パフォーマンステスト
・ワークシートの記述内容
・振り返り活動　・スキット作り
・授業観察（ペアワーク・グループワーク）
・言語活動への取り組み
・課題（自分なりに工夫した取り組みなど）など

3学期	学期末の言語活動（パフォーマンス評価）	小学校英語との関連(5年)	小学校英語との関連(6年)
	【話すこと（やりとり）】1つのトピックについて、自分の意見を言ったり、相手の意見に反対したりして、会話を3往復以上続けることができる。	先生や保護者に，自分のことをより知ってもらうために，将来の夢や中学校で頑張りたいことについて，ポスター等を使って発表し，質問に答える。	先生や保護者に，自分のことをより知ってもらうために，将来の夢や中学校で頑張りたいことについて，ポスター等を使って発表し，質問に答える。

	中心となる言語活動	聞くこと	読むこと	話すこと[やり取り]	話すこと[発表]	書くこと	小学校英語との関連(5年)	小学校英語との関連(6年)
Reading for Fun 2	『星野王子さま』の物語を楽しみながら読む。		『星野王子さま』の物語を楽しみながら読むことができる。					
Take Action! Talk6	友だちに何をプレゼントするか話し合う。			友だちに何をプレゼントするか，意見を言ったり反対したりしながら話し合うことができる。				
Take Action! Listen6	ホストファミリーの話し合いを聞いて，話し手が伝えたいことを聞き取る。	ホストファミリーの話し合いを聞いて，話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。						
Lesson7	行事や活動のメンバーを募集するポスターを書く。		新聞に掲載された大島希巳江さんのインタゆーを読んで，その要点を把握することができる。	スポーツやアウトドア活動について、経験したことがあるかどうか、対話することができる		行事や活動メンバーを募集するポスターを正確に書くことができる。		
Reading Information4	サラダのレシピを読んで，自分が必要とする情報を読み取る。		サラダのレシピを読んで，自分が必要とする情報を読み取ることができる。					
GET Plus6	「Could you～?」の表現を用いて対話する。			「Could you～?」の表現を用いて丁寧に依頼したり，それに応じたりしながら対話することができる。		丁寧に依頼した表現を英文で書くことができる。		
Take Action! Talk5	困っていることを伝え，解決策について対話する。			困っていることを伝えたり，支援を申し出たりしながら対話することができる。				
Take Action! Listen5	ラジオの臨時ニュースを聞いて，話の全体的な内容を聞き取る。	ラジオの臨時ニュースを聞いて，話の全体的な内容を聞き取ることができる。						
Lesson6	お返しのお土産に添えるカードに，お礼の言葉とお土産の説明を書く。		ウェブサイトに掲載された中国茶の説明を読んで，その概要を把握することができる。	ずっと興味のあることについて、現在完了形を使い、話すことができる。		お返しのお土産に添えるカードに，お礼の言葉とお土産の説明を書くことができる。		お世話になった人に感謝の気持ちを伝えることができる。

鴨方中学校

シラバス

【　令和３年度　３学期　】

第3学年

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

国　　語	第３学年　３学期	授業時間数	３時間／週
教科書（発行所）	国語３（光村図書）		

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現することができる。具体的には次のとおり。 （１）社会生活に必要な国語の特徴を理解し、適切に使うことができる。 （２）社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身に付けることができる。 （３）言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上に努めることができる。	
評価の観点	①知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
	②思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	③主体的に学習に取り組む態度	・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。
評価の方法		・小テスト　・単元テスト　・定期考査　・聞き取りテスト ・ワークシートへの記述内容　・授業観察（ペアワーク・グループワーク） ・言語活動への取り組み　・作品　・発表内容　・振り返り活動　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	７　価値を生み出す	誰かの代わりに	・抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読む。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。
		漢字のまとめ 文法への扉２	・中学校３年間で学習した漢字や文法の知識を定着する。
		本は世界への扉	・世界の状況や人々について考え、本の世界を広げる。
	８　未来へ向かって	温かいスープ	・文章から国際社会における人と人との関係について考えを深める。
		わたしを束ねないで	・詩の中の言葉や表現から作品のもつメッセージを捉え、これからの自分の生き方や可能性について考える。
		３年間の歩みを振り返ろう	

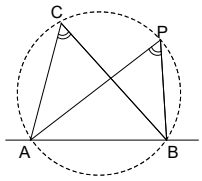
社会	第３学年　３学期	授業時間数	４時間／週
教科書（発行所）	新しい社会 公民（東京書籍）		

学習目標	⑴課題を追求したり解決したりする活動を通して、社会的事象について調べたり、考えたりすることができる。 ⑵広い視野をもって、平和で民主的な社会を担う公民として必要な力を身につける。	
評価の観点	①知識・技能	・社会的事象について、その意義や特色、相互の関連、基本的用語などの知識を身につけている。 ・様々な資料を収集・選択をして、それをもとに調べまとめることができる。
	②思考・判断・表現	・社会的事象から課題をみつけ、多面的・多角的に考え公正に判断し、結論を導き出し、まとめたり発表したりできる。
	③主体的に学習に取り組む態度	・課題解決を視野に、よりよい社会の実現に向けて、意欲的に追究、解決しようとしている。
評価の方法		・授業観察（班活動、話し合いや学び合いの様子、発表、発言） ・ワークシートの内容　・振り返りシート　・ノート（まとめ、整理） ・定期考査　・小テスト　・課題（取組のようす）　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	○私たちの暮らしと経済	・財政と国民の福祉	・財政の役割と課題を理解し、社会保障制度の現状と課題について考える。
		・これからの経済と社会	・循環型社会と環境の保全の取り組みを理解し、これからの社会に必要な「豊かさ」について自己の考えをまとめる。
		・国際社会の仕組み	・国際社会のさまざまな仕組みを知り、国際協調のために国際法や国際連合が果たしている役割について理解する。
	○地球社会と私たち	・さまざまな国際問題	・地球環境問題、資源･エネルギー問題、貧困問題、テロリズム,難民問題などの国際問題について調べ、解決に向けて自己の考えをまとめる。
		・これからの地球社会と日本	・グローバル化の中で、日本が果たしている役割について調べまとめる。
	○よりよい社会をめざして	・持続可能な社会の形成者として、「持続可能な社会を実現するために」	・持続可能な社会の形成者として、社会の課題を解決するために「自分にできること」を考え、探求する。 →課題を設定する（５つのテーマ） １環境・エネルギー，２人権・平和 3伝統・文化，　4防災・安全, 5情報・技術 資料を集め探求する レポートにまとめる

数学	第３学年　３学期	授業時間数	４時間／週
教科書（発行所）	未来へひろがる　数学３（啓林館）		

学習目標	（１）身のまわりの事象についてのきまりや法則をみつけたり、それを数学的に表現・処理したりする技能を身につけることができる。 （２）数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、よりよく問題解決しようとすることができる。	
評価の観点	①　知識・技能	・数学の学習で使用する言葉や法則を、今までに習ったことと関連付けて理解することができる。 ・計算方法を理解し、正確に答えを求めることができる。
	②　思考・判断・表現	・身のまわりの事柄を数学を用いて調べ、数学的な表現を用いて分かりやすくまとめることができる。 ・図形の性質を論理的に確かめることができる。
	③　主体的に学習に取り組む態度	・数学を使って問題を解くことのよさを実感し、向上心をもって粘り強く考えることができる。 ・自分の考え方を振り返って、よりよく解決しようと努力している。
評価の方法		・授業観察（話し合い活動・発表）　・ノート　・振り返り活動 ・課題　・定期テスト　・小テスト　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動の例
３学期	６章　円の性質 １節　円周角と中心角	・円周角の定理の逆	・下の図で、∠ＡＰＢ＝∠ＡＣＢならば、４点Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｐは同じ円周上にあることを説明する。 
	２節　円の性質の利用	・円の性質の利用	・円周角の性質を使って、円の接線を作図する。
	７章　三平方の定理 １節　直角三角形の３辺の関係	・三平方の定理	・直角三角形の２辺の長さから、残りの辺の長さを求める。
	２節　三平方の定理の利用	・三平方の定理の利用	・２点間の距離を求める。 ・直方体の対角線の長さを求める。
	８章　標本調査とデータの活用 １節　標本調査	・標本調査の方法 ・母集団と標本の関係 ・データを活用して、問題を解決しよう	・全体の傾向を調べるために、集団から一部を取り出す方法を学ぶ。 ・一部のデータから、全体の傾向を推測する。 ・身のまわりにある問題を解決するための方法について考える。

理科	第３学年　３学期	授業時間数	４時間／週
教科書（発行所）	未来へひろがるサイエンス３（啓林館）		

学習目標	○月や金星の見え方や生物と環境、科学技術の発展など、天体や自然と人間に関係することを科学的に探究するために必要な知識や技能を身につける。 （１）月や金星の見え方や生物と環境、さまざまな物質の利用、科学技術の発展に関する基本的な内容が理解できる。 （２）実験器具を正しく操作し、安全に観察・実験を行うことができる。 （３）学習の中で見つけた課題に対して観察・実験を行い、その結果から規則性や関係性などを見いだすことができる。	
評価の観点	①知識・技能	・月や金星の動きと見え方、日食と月食のしくみについて理解している。 ・生態系における生物どうしのつながりや数量的な関係、生物の活動による炭素の循環について理解している。 ・科学技術の発展が社会に与えた影響や生活の変化について理解している。 ・身近な自然環境の調査によって、大気や水のよごれ具合がわかることを理解している。 ・日本付近で起きる自然災害について理解している。 ・地球温暖化や大気汚染など、人間の活動によるさまざまな環境問題について理解している。 ・循環型社会を築く必要性について理解している。 ・ガスバーナーなどの器具を正しく操作し、観察・実験を行うことができる。
	②思考・判断・表現	・地球から見える金星の見え方を調べるモデル実験を行い、金星の見かけの形と大きさの変化を見い出し、太陽と金星の位置関係と関連付けて説明することができる。 ・生態系における生物どうし数量的な関係の変化について、食物連鎖と関連づけて説明することができる。 ・日本付近で起きる自然災害から身を守るために自分たちでできる減災や防災について考え、説明することができる。 ・循環型社会を築くために自分たちでできる取り組みついて考え、説明することができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	・月や金星の見え方や生物と環境、科学技術の発展など、天体や自然と人間に関する観察・実験に積極的に参加し、結果をまとめたり発表したりすることができる。 ・グループでの話し合い活動において、積極的に自分の考えを発表したり友達の考えを聞いたりし、科学的に探究しようとしている。
評価の方法		・授業観察（班活動、話し合いのようす、発表、発言） ・章ごとの小テスト　・ワークシートへの記述の内容 ・観察や実験のレポート　・自己評価シート　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
3学期	宇宙を観る	月と金星の動き方と見え方	・月の動きと見え方について学ぶ。 ・日食と月食について学ぶ。 ・金星の動きと見え方についてモデル実験を通して学ぶ。
	自然と人間	自然界のつり合い	・生物どうしのつながりについて学ぶ。 ・生態系における生物の数量的な関係について学ぶ。 ・微生物による有機物の分解について実験を通して学ぶ。 ・生物の活動と炭素の循環について学ぶ。
	自然と人間	さまざまな物質の利用と人間	・衣服の繊維を例に身の回りにある天然の物質と人工の物質について学ぶ。 ・プラスチックについて学ぶ。 ・交通手段の発展について学ぶ。
		科学技術の発展	・科学技術の発展が社会に与えた影響について学ぶ。 ・通信手段を例に科学技術の利用と人間の生活の変化について学ぶ。
		自然と環境	・身近な自然環境の調査を通して、さまざまな環境汚染について学ぶ。 ・日本付近で起きる自然災害について学び、自分たちでできる減災や防災について考える。 ・地球温暖化や大気汚染など、人間の活動によるさまざまな環境問題について学び、自然環境の保全について考える。
		持続可能な社会をめざして	・循環型社会を築く必要性について学び、そのために自分たちでできる取り組みついて考える。

音楽	第３学年　３学期	授業時間数	１時間／週
教科書（発行所）	中学生の音楽２・３上下（教育芸術社）、器楽（教育芸術社）		

学習目標	（１）曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 （２）曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 （３）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。	
評価の観点	①知識・技能	・ギターの特徴を知り、ふさわしい音色や奏法を工夫して演奏することができる。 ・歌唱にふさわしい発声や姿勢を意識し、声部の役割を感じながら、言葉を大切にして表情豊かに歌うことができる。 ・作品の背景に秘められたエピソードを知り、クラシックギターの音色に注目しながら鑑賞することができる。
	②思考・判断・表現	・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法		・授業観察（個人練習、グループ活動）　・ふり返り活動　　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	歌唱	卒業式の歌	・歌い合わせる喜びを感じ、声部の役割を感じながら、言葉を大切にして表情豊かに合唱する。 ・曲にふさわしい歌唱表現を考え、創意工夫する。
	器楽	ギター	・ギターの特徴を知り、ふさわしい音色や奏法を工夫して演奏する。 ・コードの押さえ方を知り、響きを感じながら演奏する。
	鑑賞	アランフェス協奏曲	・作品の背景に秘められたエピソードを知り、クラシックギターの音色に注目しながら鑑賞する。

美術	第３学年　３学期	授業時間数	１時間／週
教科書（発行所）	美術２・３上下 学びの実感と広がり、学びの探求と未来（日本文教出版）		

学習目標	（1）造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができる。 （2）美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に対する見方や感じ方を深めたりできる。 （3）創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	
評価の観点	①知識・技能	授業で学んだことを理解し、意図に応じて材料や用具を生かしたり、表現方法を工夫したりして作品に表すことができる。
	②思考・判断・表現	作品の主題を生み出し、豊かに発想して構想を練ったり、自分や他の人の作品を自分なりに批評したりすることができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	意欲的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心をもつことができる。
評価の方法		・授業観察　・アイデアスケッチ　・ワークシート　・振り返り活動 ・鑑賞プリント　・作品　　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	卒業制作～私の一番の思い出の瞬間～	中学校３年間の中で一番印象に残った瞬間を粘土で立体的に表現する 完成した作品を並べて、共同制作として作品の鑑賞を行う	・人の形をした芯材に粘土をつけていき、思い出の瞬間の動きを表現する。 ・絵の具で色を塗り、必要があればニスを塗る。 ・土台板に固定をして、完成させる。 ・作品票を書き、振り返りをする。 ・完成した作品を並べて、鑑賞会を行う。

保健体育	第３学年　３学期	授業時間数	３時間／週
教科書（発行所）	新しい保健体育（東京書籍）		

学習目標	（1）　各種の運動の特性に応じた技能を理解し、身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解し、実践することができる。 （2）　運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて考え判断することができる。また、それを他者に伝えることができる。 （3）　生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活をしていく態度を養うことができる。	
評価の観点	①知識・技能	・それぞれの運動の特性に合った技能や、健康・安全について理解することができる。基本的な技能を身に付けることができる。
	②思考・判断・表現	・運動・健康について課題を発見し、それらを合理的に解決していくために考え、判断することができる。また、それらを他者に伝えることができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、積極的に参加する、一人一人の違いを大切にすることができる。 ・心身の健康を保持し、高めていこうとする態度で臨むことができる。
評価の方法		・授業観察　・スキルテスト　・保体資料ノート　・振り返りシート ・定期考査　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	体つくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	・ストレッチや、トレーニングなど、自己の体力に応じた課題をもった運動を行う。
	球技	ゴール型 ネット型	・基本的な動作・用語を覚える。 ・基本的な技能を習得する。 ・ルールを覚え、試合をする。
	体育理論	文化としてのスポーツの意義	・現代生活におけるスポーツの文化的意義、国際的なスポーツ大会が果たす文化的な役割、人々を結びつけるスポーツの文化的な働きについて学習する。

技術	第３学年３学期	授業時間数	0.5 時間／週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭　技術分野（東京書籍）		

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造することができる。

評価の観点	① 知識・技能	生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能を身につけることができる。
	② 思考・判断・表現	材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し、解決できる。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとすることができる。
評価の方法	・授業態度　・自己評価　・レポート　・発表　・作品 ・実技テスト　・ワークシート　　など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	第２章 材料と加工の技術による問題解決	作業手順を考えて、スマホスタンド製作	・安全・適切な製作や検査、修理ができる。 ・製作の過程について考える。
		問題解決の評価や改善、修理	・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修理する方法を考える。
		これからの「材料と加工の技術」	・これからの「材料と加工の技術」について考える。

家庭	第３学年　３学期	授業時間数	０．５時間／週
教科書（発行所）	新しい技術・家庭　家庭分野（東京書籍）		

学習目標	（１）今まで学習した食生活の知識を使い、バランスのよい食事を自分で考えることができる。 （２）今まで学習した消費生活の知識を使い、中学卒業後の自分にかかるお金について知ることができる。	
評価の観点	①知識・技能	・バランスのよいお弁当の主菜・主食・副菜の割合がわかる。 ・中学卒業後の自分に必要な費用の種類と金額を知る。
	②思考・判断・表現	・自分の食生活から高校進学後の昼食についての課題を決め、解決策を考えながら、考察したことを文章で表現することができる。 ・中学卒業後の自分にかかる費用について知り、通信費等自分が使ってよいお金について考え、今の自分の生活を振り返り、考察したことを文章で表現することができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	・家族と協力・協働し、よりよい高校生活の実現に向けて、自分にできることを考え、実践しようとしている。
評価の方法		・授業態度　・課題　・プリント　・レポート　・発表 ・振り返り活動　・ワークシートへの記述　など

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	生活の課題と実践 （１編４章日常食の調理・お弁当作りに挑戦）	・バランスのよいお弁当の作り方	・自分で料理を選び、バランスのよい食事を考える方法がわかる。 ・お弁当の主菜・主食・副菜の割合を知り、バランスのよいお弁当の割合がわかる。
	（４編１章バランスよく計画的な金銭の管理・高校１年生に必要なお金）	・高校１年生の自分に必要なお金	・自分が希望する高校に必要な費用（授業料・教科書・制服・体操服・交通等）と生活費（食料・被服・通信・娯楽等）について調べ、高校１年生の自分にどれくらいのお金が必要か知る。

英語	第３学年　３学期	授業時間数	４時間／週
教科書（発行所）	NEW CROWN ENGLISH SERIES 3		

学習目標	（１）ことばを使って理解し、表現し伝え合いながら実際のコミュニケーションで活用できる英語力の育成。 （２）読む、聞く、書く、話す（やりとり・発表）の４技能５領域（以下の５点）の統合的育成。 ・簡単な文章や表示、掲示を理解することができる。 ・簡単な文や指示を理解することができる。 ・身近なことについて簡単な文を使って話したり、質問したりすることができる。 ・自分のことについて、簡単な文やメモを書くことができる。 ・自分のことについて、簡単な文で紹介したり、やりとりしたり、発表することができる。	
評価の観点	①知識・技能	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことにおける実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。
	②思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる。
	③主体的に学習に取り組む態度	・①②を獲得するために、自己調整しながら、粘り強く学習に取り組んでいる。外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	・小テスト　・単元テスト　・定期考査　・リスニングテスト ・スピーキングテスト　・パフォーマンステスト　・ワークシートの記述内容 ・振り返り活動　・スキット作り　・授業観察（ペアワーク・グループワーク） ・言語活動への取り組み　・課題（自分なりに工夫した取り組みなど）など	

学期	単元・題材	学習内容	学習活動
３学期	L7 【中学生活の思い出、英語を学ぶ意義】 For Our Future	間接疑問文 help+A+動詞の原形	間接疑問文や help+A+動詞の原形を表現し、聞き、読み、理解する。３年間を振り返ったり、未来の自分を想像しながら、 ２０歳の自分に向けてビデオメッセージを作る。
	G3 教室の飾りつけをしてもらいたいです	I want you to~	I want you to~の表現でしてもらいたいことを伝えたり、応じたりして自由に話す。
	RF2 A Present for You	物語を楽しむ	『賢者の贈り物』の物語を楽しみながら読む。
	RF3 Learning from Nature	説明文を読む	バイオミメティクスについて書かれた説明文を読む。（身の回りにあるバイオミメティクスの実例を探してみる）